

ながい 市議会だより



1月7日豊田地区公民館の土曜らんど「だんご下げ」。紅白だんごに色とりどりのふなせんべい、折り紙飾り、短冊に目標などを書き、五穀豊穡を願いました。(写真上)

1月2日タス元旦祭の新春書き初め大会。それぞれのお題に向かう子どもたち。(写真右)



よりわかりやすく
一般質問で
一問一答方式を
試行的に導入

もくじ

12月定例会の概要	2	予算特別委員会総括質疑	9
10月臨時会の概要	4	第5回市民と市議員との意見交換会	11
一般質問	5	請願・意見書・3月定例会日程	14

年頭に寄せて

議長 渋谷 佐輔



明けましておめでとうございます。議会を代表し、新年のお慶びとご挨拶を申し上げます。新しい「市議会丸」として船出をして1年半を経過しました。たくさんのご意見を賜り、対話も重ね、議論も深めることができました。船の積荷は市民生活と市勢向上の活力源であり「市議会丸」は「平成の北前船」と進化しつつあります。しなければなりません。積荷の一つを紹介しますと、昨年は議員の政務活動費公開が話題になりました。長井市議会では、今まで適正に公開してきましたが、平成28年度分からよりわかりやすくご理解いただく方法でお示しいたします。ほかに、一問一答方式の導入や市民との意見交換会など創意工夫によって、多様な市民負託に応えていきます。結びに市民各位のご多幸ご健勝をお祈りし、今年も一層のご指導をよろしくお願い申し上げます。

12月定例会

平成28年12月定例会を12月2日から22日までの21日間の日程で開催し、一般議案18件、補正予算11件、請願1件、議案案1件（意見書）について審議を行いました。その中で、最終日に提案された「議案第96号長井市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」に修正案が提出されましたが、賛成多数で原案可決となりました。請願は採択、その他の議案もすべて原案どおり可決しました。なお、一般質問には9名の議員、予算総括質疑には3名の委員が質問に立ち、当局の考えをいただきました。（質問等の内容は5～10頁）

「特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例」を可決

この議案は、市長、副市長、教育長及び議会の議員に対して支給する期末手当の支給割合を改定するとともに、去る10月16日に開催された第30回長井マラソン大会においてスタート位置を誤った件に関し、市長の平成29年1月分の給料を5%削減するために、最終日に提案されたものです。スタートの直前に、スタート位置が電信柱1本分前であることに気づいた大会関係者が出発係の競技役員に伝えたが、すでに並んでしまっていること、時間がないこと、

100mまでのズレは問題ないという誤った認識もあり、そのままスタートしてしまいました。

今大会のフルマラソンは、日本陸上競技連盟から認定を受けた公認コースとして今年で3回目の大会です。フルマラソンには、590名のエンタリイがありました。日本陸上競技連盟登録者が121名、そのうち完走者が97名で、この記録が公認記録として登録されないことになりました。

当局の原案に対して修正案が提出されました。

本会議の討論（意見表明）

渡部秀樹議員から「長井マラソン大会でのスタート地点

の間違いと公認コースとしてのルール解釈の誤り、そして、公表の遅れなどの責任から市長給料を減額するということが、今回のように多数の団体で組織運営される大会のミスを給料の減額で償うことは、責任の取り方として馴染まないのではないか。また、本議会での答弁と異なる内容が一部新聞に掲載され、最終日に提案されることは疑問である。

給料の減額ではなく、参加者へのさまざまな配慮により信頼回復に努め、次回大会を成功させる事が大切であり修正案に賛成である」との意見や、五十嵐智洋議員から「長井マラソン関係者のこれまで努力と功績に心から敬意を申し上げる。市長は大会会長の責任、

はじめとして給料の5%減額する議案を上程された。参加者に対してのお詫び、次回以降のしっかりした大会運営の決意を示した。公認記録とならなかった方々を来年は招待選手に考えたいとの答弁もあった。大変いいアイデアと思う。来年の開催まで時間があることから実行委員や関係者とじっくり協議し、最善の策を整えてほしい。ピンチをチャンスに変え、おもてなしのあるすばらしい長井マラソン大会となることを願い、修正案に反対する」との意見が出されました。

採決の結果、修正案は賛成少数で否決、原案は賛成多数で可決となりました。



主な議案

①負担付きの寄附の受領について ②財産の無償貸付について

フラワー長井線の鉄道事業再構築事業を実施することに伴い、山形鉄道㈱から負担付きの寄附（長井市分の土地576筆165,595.82㎡）を受けるもの。

鉄道事業再構築事業の前提となる「フラワー長井線沿線地域公共交通網形成計画」を平成28年2月に策定し国土交通省に提出。その後、国交省と協議を重ね再構築事業実施計画の認定を申請したが、この事業は上下分離方式をとることが前提となっているため、山形鉄道㈱が所有する土地を沿線自治体へ無償譲渡し、無償譲渡を受けた土地をそのまま山形鉄道㈱へ無償貸付する手続きが必要となった。この事業に取り組むことにより、鉄道施設の修繕費用などへの国庫補助率が1/3から1/2にかさ上げされる。

上下分離方式とは、鉄道の経営において、下部（施設面の維持・修繕）を行政が担い、上部（運行・運営）を民間事業者や第三セクターが担う仕組み。山形鉄道㈱では、列車の運行に必要な費用を負担する。沿線2市2町では鉄道用地を保有することに加え、山形県とともに鉄道施設（駅舎、線路、車両など）の維持・修繕に必要な費用を負担する。

③指定管理者の指定について

平成29年4月に開業予定の長井市観光交流センターについて、（一財）置賜地域地場産業振興センターを指定管理者に指定し、管理を行わせるもの。

④長井市新規就農及び移住定住促進基金条例の設定について

新規就農及び新規就農に伴う本市への移住定住の促進に要する経費を基金として積み立てるもの。当局の説明では、新規就農の研修生受け入れ協議会が地元20数名ですでに組織され、その農家の方々は、畜産、米作、花きなど、さまざまな営農を行っているので、新規就農者の希望に応えられるとのこと。2,000万円の基金を目標に12月定例会では1,000万円の積立を行う補正予算が提案された。



平成28年12月定例会 議案等に対する賛否一覧表 （下記以外については全会一致で可決されています）

議案等名	議席番号 議員氏名	議決 結果	賛 成	反 対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
					宇 津 木 正 紀	浅 野 敏 明	金 子 豊 美	内 谷 邦 彦	平 進 介	鈴 木 富 美 子	渡 部 秀 樹	今 泉 春 江	梅 津 善 之	赤 間 泰 広	小 関 秀 一	五十 嵐 智 洋	蒲 生 光 男	安 部 隆	町 田 義 昭	渋谷 佐 輔
議案第96号 長井市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（修正案）		否決	6 : 9		●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	●	○	○	○	●
議案第96号 長井市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（原案）		原案可決	9 : 6		○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○	●	●	○	○

※ 賛否が分かれたものについて掲載しています。○は賛成、●は反対、議長（渋谷佐輔）は採決に加わらない。

★平成28年12月定例会に提出されたすべての議案等の議決結果は市議会のホームページに掲載しています。

一般質問で 一問一答方式を 試験的に導入

これまで本市議会の一般質問は、質問項目の全部を一括して発言した後に答弁者ごとに一括して答弁を受け、再質問からは質問項目ごとに一問一答で行ってきました。

しかし、一般質問を市民によりわかりやすく、また、議会での議論の活性化を図るため、最初の質問から一問一答で行う新たな方式を12月定例会から試行しました。

試行にあたっては、従来からの方式との選択制とし、12月定例会では、質問者9名中6名が一問一答方式を選択しました。

予算特別委員会や決算特別委員会はすでに一問一答で行っていますが、今後、一般質問で一問一答方式を正式導入するか否かは、試行を重ねながら議会運営委員会等において協議していきます。



長井小学校第一校舎の利活用と必要性は
議員 11 名が質疑 白熱した 5 時間！！

10 月
臨時会

10 月 24 日に臨時会を開催しました。提案された補正予算議案 1 件（長井小学校第一校舎耐震改修等修正設計業務委託料 15,453,000 円）について審議し、議案を原案どおり可決しました。
なお、11 名の議員が約 5 時間にわたり質問に立ち、当局の考えをいただきました。

問 この補正予算は、長井小学校第一校舎を学校から切り離し、子どもの学びの場（キャリア教育）、大人の学びの場（親子共同体験）、居心地の良い空間（ブックカフェ等）として保存、活用するための改修工事や免震・耐震補強工事等を行うため、設計業務委託料を追加計上するものです。

答 ほかの公共施設整備への財政的な影響や児童の安全な教育環境の確保、今後の管理棟（職員室）整備の考え方などについて質疑を行いました。

主な質疑

問 市民から保存や利活用について要望があったのか。

答 長井小の校長や保護者からも保存を望む声がある。

問 学校敷地内であるが、安心・安全な学校教育が担保できるのか。

答 安全対策等の調査をしている。教育の場所や時間を制約しないように配慮して対応策を検討する。

問 新管理棟建設の予算は、どう想定しているのか。

答 第二、第三校舎内に管理棟機能を設けられないのか。



ライトアップされた長井小学校第一校舎

問 昇降口と合わせて 4 億から 5 億円近く必要とみている。児童の登下校やグラウンドを見渡せる位置が望ましいと考えている。

答 管理棟の建設と合わせて約 11 億円かけて、将来の負担にならないか。

問 文化財として価値がある。地方創生関連の有利な補助金を活用して残したい。ほかの施設整備で費用を抑えるなど工夫したい。

答 本会議の討論（意見表明）

今泉春江議員から、「今まで、歴代の校長や PTA から

長井小学校第一校舎を保存し利活用する場合に想定される予算（10 月現在の試算）

歳入	
国庫補助金	1 億 8,300 万円
普通交付税	1 億 8,909 万円
一般財源	1 億 5,541 万円
寄付金	5,000 万円
歳出	
総事業費	7 億 9,295 万円
うち長井小学校第一校舎耐震改修等修正設計業務委託料	1,546 万円

の要望があり保存されてきた。学識者の所見では現存する木造校舎は全国的に見ても非常に少なく貴重な存在であるとしている。長井小学校は、歴史的にも文化的にも貴重な建物で、引き続き保存するのが私たちの役目ではないかと強く感じている。観光交流センターも来年 4 月に開業となり、長井小学校は観光としても重要な価値がある。

長井市の宝を未来の子どもたちに残すことが重要で文化施設として利活用することを願い本案に賛成である」との意見が出されました。

採決の結果、賛成多数で可決となりました。

平成28年10月臨時会 議案等に対する賛否一覧表（下記以外については全会一致で可決されています）

議席番号 議員氏名 議案等名	議決 結果	賛成 賛成・反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			宇津木正紀	浅野敏明	金子豊美	内谷邦彦	平進介	鈴木富美子	渡部秀樹	今泉春江	梅津善之	赤間泰広	小関秀一	五十嵐智洋	蒲生光男	安部隆	町田義昭	渋谷佐輔
議案第96号 28年度一般会計補正予算第7号	原案可決	10：5	●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	●	／

※ 賛否が分かれたものについて掲載しています。○は賛成、●は反対、議長（渋谷佐輔）は採決に加わらない。

※キャリア教育：子どもたちが将来、社会的・職業的に自立し、自分らしい生き方を実現するために必要な基盤となる力を育てる教育

※ブックカフェ：書籍や雑誌を多数そろえて、客が飲食しながら自由に本を読み、購入できる喫茶店や本屋の中のカフェ

一般質問

市政全般について、 9名の議員が質問しました



平 進 介

長井マラソンの
事故対応は独自に

弁 再発防止策の徹底と
大会運営の改善を図る

信頼を回復するのではなく、来年以降の大会にも参加していただけるよう働きかけをするとともに、再発防止策の徹底と大会運営の改善を図り、よりよい大会とすることで信頼回復に努めてまいります。次回大会の参加料減額についても検討します。

Q: 西根小を会場に行った総合防災訓練は、地域住民や関係機関とともに、自主防災組織の人たちも積極的に参加しておられました。ただ、自主防災組織の人たちのヘルメット着用がなくなり、夜間活動を含め災害対応時の安全対策として、LEDヘッドライト付きのヘルメットを配備してはどうですか。

A: 現在100組織中18組織でヘルメットを装備されていますが、まだまだ足りない現状です。今後も、自主防災組織活動費補助金や防災資機材等整備事業費補助金を活用いただき、災害対応時の装備を充実していただきたいと考えています。また、補助金のPRも行つてまいります。



千葉県松戸市の「川の一里塚」



長井マラソンのスタート直後



浅野 敏明

災害対策及びかわまち
づくりについて

弁 市民の安全・安心の
ため順次進めていく

布について伺います。

A: 防災ラジオは、平成29年度当初予算に要求し、より多くの市民へお届けできるように努めます。

新たなハザードマップについては、平成29年1月公表予定の、最上川上流部の洪水浸水想定区域の見直し等を踏まえながら、その作成作業に入る予定です。

Q: かわまちづくり計画の変更内容と国が取得したタス東側用地の活用について伺います。また、最上川の魅力アップのため、災害時の水防活動の拠点、自然とのふれあい拠点、フットパスの拠点、川のランドマークの「川の一里塚」を整備してはどうですか。

A: 計画の変更内容は、白川の築堤事業で新たに生じた高水敷と周辺整備の内容を追加するものです。タス東側河川敷については、観光交流センターと連携したよりよい利活用を検討します。「川の一里塚」については、最上川河川緑地活用計画の中で、整備可能かを検討します。



内谷 邦彦

「行きたい」と思える
観光交流センターに

弁 来場者、売上げ及び
答 雇用の確保に努める

Q: 来春4月にオープン予定の観光交流センター道の駅「川のみなと 長井」は、経済の活性化、消費の喚起を目標とし、消費者が「行きたい」と思える運営が求められていますが、オープンに際してのイベントはどのように考えているのですか。

A: 観光客が増える桜の時期の4月21日（金）にオープンを予定し、多くの皆さんにおいでいただくよう、金・土・日と連続してイベントが開催できないか検討しています。

Q: 直売所の農林産物については、栽培記録表（農薬の使用履歴）の提出が必要ということですが守られていますか。また、直売所の売上げが減少する冬期間の売上げ確保の対策は考えていますか。

A: 栽培記録票については、新たな生産者の加入がないことから提出を求めているが、今後改善していきます。冬期間は、品揃えの面から一般市場からの仕入れや、六次産業化の加工品を増やします。

Q: 指定管理料として、平成29年度から31年度まで予算化されていますが、このような事業の場合、最低限運営費用は自分たちで稼ぐべきであり、新規事業を行う際は、新たな雇用を生み出すことが必要不可欠だと思いますがいかがですか。

A: 観光交流センターの維持管理経費分は、経営努力の中で賄っていくことを目指します。今後指定管理者と協議し、新たな働く場の創出、臨時やパートから職員として採用することも継続し実施します。



観光交流センター全景



花作川の梅花藻（ばいかも）の花



宇津木正紀

高齢者世帯の間口除雪を
モデル地区から始めては

弁 まずは、平野地区を
答 モデル地区として推進

Q: 高齢者世帯の間口除雪についての検討は、どのようになされましたか。

A: 北海道の美幌市や県内の村山市の先進例がありますが、長井市独自の間口除雪について、最初はモデル地区として始めてはどうですか。ミニデイスーパーも自主防災組織も少しずつ増えました。その例に習うのも一つの方策だと思います。

A: 間口除雪に限らず、総合的な雪対策に向けて、住民間の共助を維持しながら、地域

で支え合う仕組みづくりを検討します。また、地域づくり計画が進み、公民館のコミュニケーションセンター移行に向かっている平野地区をモデル地区として推進し、市内全地区に広めていきます。

Q: 今年「黒獅子の里案内人」のグループで市街地の水路・梅花藻の調査をされました。市民が市街地の川に目を向けるいいきっかけになったと思います。調査の結果を受けて、今後の方向性をお尋ねします。

A: あやめと萩の間に、夏の花として梅花藻を売り込んではいかがですか。梅花藻を観光資源として、今後どう活用していくのか、方向性を伺います。

A: あやめと萩の間の期間は花がない時期にあたり、その期間をカバーするものとして梅花藻の存在は大きいと考えています。中心市街地活性化計画にあるように、まちなかへの人の流れをつくり、賑わいを醸し出す観光資源として、梅花藻の売り込みは効果的だと思います。

Q. 人口減少で小学生の数が減っていますが、核家族世帯が増え、学童クラブのニーズは高くなっています。地域には知恵をたくさんお持ちのお爺ちゃんお婆ちゃんがいっぱいいますので、学童クラブを訪問していただき、子どもたちと触れ合う機会をつくってはどうですか。

また、児童の人数が増え、放課後児童支援員の対応は多種多様になりますが、支援員の方は研修等を受講しているのですか。市の職員も受講し

弁 答
関係機関が連携を密にし、効果的に進める

学童クラブの適正で健全な経営を目指すには



鈴木富美子

ているのですか。

A. 地域との交流については、各地区公民館をはじめ多くの方の協力をいただきながら、学童クラブ、放課後子ども教室の充実に努めます。

学童クラブ支援員の研修については、放課後児童支援員研修等を受講しています。市職員は、指導的な役割であるため受講していません。

Q. 土曜らんどや、昨年から行っている放課後子ども教室は教育委員会管轄、学童クラブは子育て推進課管轄と、少子化対策事業を別々に実施している気がします。教育委員会と子育て推進課の連携を密にして、効果的に進める時期ではないですか。

A. 全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができよう、教育委員会と子育て推進課が協力し、学童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施することとしています。今後も、学校と学童クラブの連携を図り、よりよい体制をつくっていきます。



長井小学校第一校舎の中央階段



平野学童クラブ

Q. 長井小学校第一校舎活用事業は全体事業費7億7千万円、うち長井市が4億円余りを負担するもので、投資効果を確実にするため、一部を長井市議会議場として改修することを提案します。

議場限定ではなく、少年議会や全市民が生涯学習に利用できる「学習用会議室」のようなスペースにすることで立派な教育施設になります。市役所3階は議会関係棟ですが、議場に限れば年間使用が30日に満たない「もったいない」

弁 答
今年度の調査事業の中で検討する

長井小第一校舎を市議会議場に



五十嵐智洋

場所です。

新庁舎を建設する場合、議場関連部分が不要になれば5億円以下の費用削減が見込まれます。また、空き校舎活用の画期的な事例となり、全国から議会、教育関係者、団体などの視察で交流人口が増え経済活性化にもつながることから、ぜひ支援すべきです。

A. 国から地方創生推進交付金の支援を受け、第一校舎の活用策を検討する「有効活用可能性等調査業務委託契約」を、株式会社三菱総合研究所との間で締結しました。

第一校舎の活用にあたっては「学び」をコンセプトとし、小中学生向けのキャリア教育、レストランやブックカフェ等の商業、芸術作品のギャラリーなど、学びと交流を中心とした機能を想定しています。ご提案いただいた市議会議場としての活用についても、今年度の調査事業の中で、市民の皆様や事業者の方とともに、他自治体の事例などを参考にしながら検討したいと思っています。



今泉 春江

タウンセンター活用 の進捗状況は

弁 答
駐車場に食品スーパー、ビルはテナントと市役所の一部に

づつみを観光名所にするため、観光客や市民のために駐車場を整備する必要があります。

A. 菜なポートは市民の強い要望もあり存続させる方向で検討しています。桜づつみの駐車場は河川敷広場を利用する方向で、国交省や関係者と協議していきたいと思います。

Q. 国保税の滞納者の保険証の取り上げをやめ、医者にかかれぬ人が出ないようにすべきです。次年度も特定健診の無料化の継続と低所得者、一人親世帯、障がい者などへの福祉灯油の実施も要望します。

A. 法に従い行っています。特定健診の無料化は続けます。福祉灯油も実施を検討します。

Q. 長井フルマラソンが距離不足で公認とならなかった原因と、再発防止の対策をどうお考えですか。公認マラソンの重みを考えるべきであり、参加費を返却し、参加者と市民への信頼を回復すべきです。

A. 今後再発防止の改善をし、参加費は次年度に軽減するなどの検討をし、信頼回復に向けて努力していきます。



百人一首 遍照寺のかるた会



活用が待たれるタウンセンタービル



小関 秀一

「長井の心」を平和教育・ 古典の音読・キャリア 教育で

弁 答
「長井の心」を育む教育を実践していく

Q. 全国で後を絶たないじめ事件、体罰事件。恵まれた自然環境との調和の思想「長井の心」に貫かれる教育現場の課題について、教育長に伺います。

A. 「いじめ防止基本方針」を策定し、いじめの未然防止や早期対応に努めています。また、各小中学校とも学校経営方針等で「長井の心の育成」を重点項目と位置づけ、特色ある教育活動を展開しています。

Q. 長井市戦没者追悼式での、

南北中の生徒さんの永久の平和を祈念する朗読は、毎年感動します。平和宣言都市の長井市のキャリア教育、国語教育等の成果と思います。平和教育の展望と、今後、生徒代表の広島、長崎の平和式典への派遣を通し、平和の大事さを広げる提案について教育長の見解を伺います。

A. 各小中学校において、意図的に平和についての学習を教育活動に組み入れ、平和を愛する心を育てるよう努めています。生徒代表の派遣については今後検討したいと思っています。

Q. 長井市総合教育会議で、「古典の音読」の重要性があげられており、親も祖父母も脳を使う興味深い取り組みです。論語や百人一首等間口も広く、教室もあり全国レベルの生徒もおられます。今後の活用について伺います。

A. 小学校では、朝読みや読書活動を奨励しており、読み聞かせにも力を入れています。新たな取り組みとして「古典の音読」も検討します。



赤間 泰広

市営住宅退去時の 管理規定について

弁 答
今後見直しを検討して
いくべき課題と考える

退去時のふすま等の修繕料に同意を得て充当させていただいています。市営住宅は家賃が低額なため、敷金では修繕料が賄いきれず、退去時の持ち出しが多くなつてしまっています。今後検討していく課題と考えています。

Q 入居されている世帯主の年齢構成は、50歳以上の方が90戸、特に71歳以上の方は26戸ということですが、今後ますます高齢化していきます。市は今後、高齢化対策を考えているのかお尋ねします。

また、現在利用されていない市営住宅の跡地、市有地等を有効活用していくべきと考えますが、市長の考えを伺います。

Q 先頃、20年以上市営住宅に入居していた高齢者が退去する時、畳、襖を全て新しくして出ていくって欲しい旨と、新しくするための改装費として、24万から25万円の請求書を提示されたとのこと。問題を、敷金との乖離、市営住宅の本来の目的、住宅困窮者や低所得者への配慮が全くなされていないこと等、今後検討していくべきと考えますがいかがですか。

A 入居時の敷金として家賃の3か月分を頂戴し、それを

A 市営住宅では、長寿命化計画に基づき、屋根や外壁の修繕、風呂場、水回りのリフォームや階段手すりの設置など、バリアフリー化の対応や入居者の居住性、生活環境の改善を行っています。

市営住宅跡地については、宅地造成や高齢者住宅等のよりよい土地利用を検討します。



市営住宅

予算

特別委員会

総括質疑

職員時間外手当について

五十嵐智洋委員 12月補正予算で総額24000万円余りの時間外が発生し、多い課は200万円を超えていますかどのような理由ですか。

総務参事 総合政策課は地方

創生関連、10月に立ち上げたふるさと長井会、東京五輪ホストタウン誘致関連業務等の増加によるものです。財政課は補正予算、会計検査対応等、地域づくり推進課はふるさと納税、観光交流センター関連業務等によるものです。

委員 今年度総額6470万円もの時間外手当が見込まれ、平成26年度、27年度も6000万円を超えているのは正常とは思えません。経費削減のため少なくするべきです。

市長 6000万円程度に抑えているのが実態です。平成9、10年頃の行政改革前は、年間35億円以上だった人件費を、民間に業務委託などを行うことで、22億から23億円に大幅削減しています。時間外手当も、以前と比較すれば大分少なくなっています。

消雪道路整備の 今後の方向性は

宇津木正紀委員 今年度計画していた消雪道路は、これからどのように整備しますか。

市長 中道公民館前の市道中道4号線の約108メートルは、今年度整備します。市道平山中道線と成田の市道八幡小路線は、平成29年度に整備します。清水町の市道平山境町線は、社会資本整備総合交付金事業として国に要望します。

委員 市で地下水調査を行っていると思います。新たな消雪道路の整備により、家庭用の消雪設備などの地下水量に影響はないでしょうか。

建設参事 市で行った地下水位解析調査では、冬期間も地下水位が大きく下がることはなく、影響はないと思います。

委員 観光交流センターは、4月21日にオープン予定ですが、その準備はどのように考えているのですか。

産業参事 パンフレット、チラシの作成や「川のみなと長井」のホームページ開設などにより集客に努めます。雇用する人員の確保、それぞれのコーナーで研修等も行います。



文教の杜の入場者数を増やすには

内谷邦彦委員 約2千万円の指定管理料に対して、文教の杜の利用料等の収入が平成27年度で80万円では少なく、増やすためには、明治・大正時代を感じさせる空間や驚くような仕掛け等、知恵を出すことが必要ではないですか。

教育参事 指定管理であつても、少しでも収入を上げるための施策は必要と思つており、さまざまな方策を今後調査していきます。

委員 西根小学校の余裕教室を使用する西根学童クラブは、下校時間の差により、授業中に学童クラブが始まった場合、授業の妨げになりませんか。

子育て推進課長 他の学年の授業中は静かに活動して過ごすよう、支援員の指導を徹底したいと思います。

委員 学童クラブ内の問題は支援委員が解決すべきと考えますが、解決する権限は持っているのですか。

厚生参事 問題が起きた時は、支援員等が協力し適正に対応することとしており、権限をもって問題解決に努めます。

■主な一般会計補正予算の概要

○補正予算第8号 補正予算総額 81,889 万円

- ・ふるさと納税事業 8,918 万円 (ふるさと応援寄附金の基金積立、返礼品等)
- ・臨時福祉給付金給付事業 8,067 万円
- ・病児保育事業 191 万円 (病児保育事業の看護師や保育士の人件費等の委託料)
- ・学童クラブ整備事業 331 万円 (西根学童クラブを小学校に移転する工事費等)
- ・観光交流センター事業 417 万円 (観光交流センター開設準備補助金等)
- ・社会資本整備総合交付金事業 13,482 万円 (あやめ運動公園整備の工事費等)
- ・公営住宅等ストック総合改善事業 4,258 万円 (今泉団地、貝崎団地の改修工事費)
- ・中学校施設環境改善事業 22,829 万円 (南北中学校の空調設備設置工事等)
- ・教育振興事業 (小中学校) 42 万円 (1クラス1新聞の購読料)
- ・学校施設管理事業 590 万円 (縄文太鼓を西根小学校に移転する改修費等)

○補正予算第9号 補正予算総額 2,385 万円

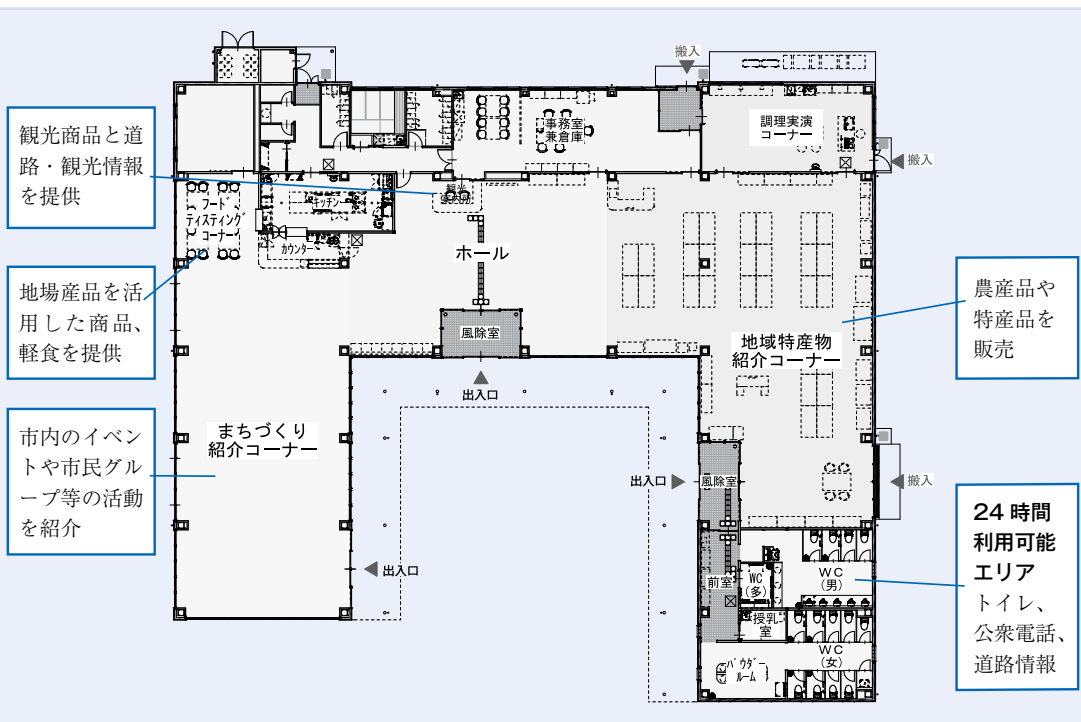
- ・特別職、一般職職員人件費 (合計) 1,832 万円
- ・灯油購入助成事業 553 万円 (灯油購入費助成金)



文教の杜関連施設

4 / 21(金) オープン予定

長井市観光交流センター 道の駅「川のみなと長井」



■施設概要
敷地面積 約 1.4ha
延床面積 975㎡
総事業費 (予定) 116,800 万円
うち建物の工事費 31,860 万円

トイレ：
男子トイレ 大4・小5
女子トイレ 9
多目的トイレ1 (身障者用)
授乳スペース
パウダールーム
駐車場：
小型車 109 台、大型車 7 台
障がい者用 4 台

ご質問、ご意見にこたえます

第5回市民と市議会との意見交換会

さらなる市民参加と

開かれた議会を目指して

長井市議会主催の第5回市民と市議会との意見交換会を11月8日から11日まで6会場で開催しました。

市議会では議会の活性化と情報公開に向けて活動しています。5回目となる意見交換会でも、定例会の審議内容を中心に、議会で考えている課題などについて説明や報告をしました。

市民の皆さんからは、暮らしの課題や要望、ご意見を数多くいただきました。ご参加いただいた皆さんに感謝申し上げます。

会場でのご質問、意見等について各担当課と協議し、一問一答方式でまとめました。紙面の都合上、一部抜粋して掲載しています。

また、会場でのご質問、意見、提言、要望等は、当局に送付しました。

ご意見やご提言については、議会内での議論や政策形成につなげていくために今後も引き続き、調査・検討していきます。

公共施設関連整備の経費と予算は

問 市庁舎や図書館、病院、市民文化会館等を新築した場合、どれぐらいの経費がかかりますか。また、どういう構想があるのですか。

担当課の回答 市役所や市民文化会館等、老朽化し改修や更新が必要となっている施設の整備を計画的に進めていくため、計画期間を平成28年度



会場の様子（豊田地区公民館）

から37年度までの10年とした「長井市公共施設等整備計画」を11月に策定しました。計画では、図書館と屋内児童遊戯施設を兼ね備えた複合施設の建設、長井小学校第一校舎の免震・耐震改修、市庁舎の建設、文化会館の大規模改修、調理場の建設等の大規模施設の整備、改修の実施を予定し、道路・河川などのインフラ等施設整備を含めた10年間の事業費を141億3千万円と見込んでいます。それぞれの施設の整備にあたっては、ご意見をいただきながら必要な機能や規模を検討した上で事業費や財源を十分精査し、進めてまいります。

庁舎移転の時期は

問 今の市庁舎はいつごろ移転するのですか。

担当課の回答 市庁舎は、防災拠点として重要な施設ですが、耐震性能不足や設備等の劣化など多くの課題を抱えています。「長井市公共施設等整備計画」では、7か所に分散している庁舎機能を集約し、市民サービスの向上や防災機能の充実を図っていくこととしており、前期5年のスケジュールの中で整備したいと考えています。



耐震診断の結果が低い第二庁舎

長井小学校第一校舎をどんな施設に

問 6億円以上もかけて長井小第一校舎の免震工事をして、



長井小学校第一校舎

どのような施設にするのですか。市民が納得できるように具体的に教えてほしいです。

意見交換会での議員の回答

第一校舎の利活用に関する市民アンケート調査や検討をするための補正予算について、6月議会ですまざまな角度から審議して可決しました。具体的な使用方法についての検討はこれからですが、国の補助金申請のために、子どものキャリア教育や市民の学びの場、ブックカフェなどの集客交流施設などが案として提示されています。建設費等は3月議会以降に審議されます。

※**キャリア教育**：子どもたちが将来、社会的・職業的に自立し、自分らしい生き方を実現するために必要な基盤となる力を育てる教育
 ※**ブックカフェ**：書籍や雑誌を多数そろえて、客が飲食しながら自由に本を読み、購入できる喫茶店や本屋の中のカフェ

病児保育の感染対策は

問 病児保育施設は、感染を防げるように個室になっていますか。空調は2階の病児保育と1階の保育所で空気が混ざらないように配慮されていますか。

担当課の回答 病児保育施設は、清水町のはなぞの保育園の2階に開設します。部屋は、飛沫感染、空気感染、接触感染を防ぐために個室となっています。また、2階の施設と1階の保育所は空調も別で、空気が混ざらない設計になっています。なお、病児保育の利用には、医師による許可が必要となりますが、感染力が強い状態では、病児保育を利用できない場合があります。病児保育の実施に向け、園児と職員の感染防止について徹底したいと考えています。

放課後子ども教室と土曜らんの総合プランを

問 放課後子ども教室が昨年から実施されています。子育て推進課所管の学童クラブと

教育委員会所管の放課後子ども教室と土曜らんどがあり、少子化対策の事業を別々に実施しているのは効率が悪いと思います。国では総合プランを策定しようですが、市ではどのように考えていますか。

担当課の回答 放課後子ども総合プランは、平成26年8月に厚生労働省と文部科学省が共同して策定したものです。そのプランの中で市町村は行動計画を策定することとされ、平成27年3月に「長井市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。この計画の中でも、子育て推進課と教育委員会が責任体制を明確にしな



放課後子ども教室

としていきますので、今後も引き続き連携強化を図りながら取り組みを進めていきます。

スキー場に子どもが遊べる場所を



道照寺平スキー場 1月13日積雪50センチで滑走可能に

問 孫と道照寺平スキー場に行きましたが、小さな子どもは遊びにくいと感じました。スキー場の西側の平坦な所に行こうとすると、上から滑り下りてくる人がいて危ないです。駐車場の東側などに、子どもが遊べる場所を作れないでしょうか。

担当課の回答 道照寺平スキー場の西側にソリ遊びなどができるスペースを確保してい

ます。そこまでスキーヤーと交錯しないで移動できるように安全面の確保、改善を運営委員会と検討します。なお、今後スキー場整備は、課題となっているゲレンデ整備、ナイター設備とあわせて、子どもが安全安心に遊べるスペースについても、関係者の方々と協議し検討します。

可燃ごみ回収日を週2回に

問 市街地（中央地区等）では週に1回しか燃やせるごみの回収日がないため、紙おむつの臭いが問題でないかと思っています。回収日が祝日に当たるとさらに困るため、ほかの地区と同様に週に2回の回収にしてみたいのですが、いかがですか。また、市内の保育所等の紙おむつの回収状況にばらつきがあるようですが、どうなっているのでしょうか。

担当課の回答 中央地区等では生ごみの収集を週2回行っていますので、燃やせるごみの収集が週1回になっています。現状では、空いている曜日がなく、燃やせるごみの収

集を週2回に増やすことができないため、ご理解をお願いします。収集日が祝日の場合、以前は収集が休みになっていましたが、今年度は延べ7日間の祝日も収集するか、代替の収集日を設けるなどの対応をしています。

保育所等の紙おむつ回収についても、適正に処理がなされるよう周知に努めます。

北中スクールバスに舟場と緑町の生徒が乗れないのは

問 北中のスクールバスに、舟場と緑町の生徒はなぜ乗れないのですか。

担当課の回答 現在、舟場の生徒は冬季の登下校に限って利用できますが、緑町の生徒は利用できない状況です。登下校や季節ごとに可能な限り利用できるように調整していますが、スクールバスの台数に限りがあるため、学校までの距離を勘案し行政区によって利用できる生徒が決まっていますので、ご理解をお願いします。



建設が進むバイオマス発電所

バイオマス発電関係

地元木材の使用を

問 バイオマス発電に期待しますが、地元木材は使用できないのですか。

担当課の回答 発電会社が固定価格買い取り制度の認定を受ける手続き上、山形県森林組合連合会を交渉の窓口にしてきました。7月の認定後によりやく地元からの調達を行うべく、生産森林組合等との交渉を始めています。

地元利用組織を

問 活性化のため、地元木材利用組織を検討すべきだと思います。

担当課の回答 電力の固定価格買取制度では、材料の種類で買い取り価格が変わります。

今回は間伐材を材料とします。今後は伐採材を材料とします。このため、これを証明する森林組合等が発行する証明書が必要です。証明書を受け取るにはスムーズな生産の仕組みが必要で、今後こうした仕組み作りが進む予定です。

木材の持込先と放射能は

問 どこから木材を持ち込むのか、放射能は大丈夫ですか。

担当課の回答 地元木材調達手続はこれからです。当面、村山・最上の調達先から材料を運搬します。村山市では、定期的な放射能測定により管理を行っています。長井市でも同様の管理が行われます。

温水排水による川の汚染は

問 温水として排水されることにより、川の汚染が心配ですが影響はないのですか。

担当課の回答 エンジンの冷却は、水を循環して使用しま

す。この循環水を冷やす別の水が排水となります。エンジンを直接冷却する水は高温と聞いていますが、これを冷やした水の排水温度は30度程度と聞いています。構内でさらに冷やしてから放流されますので、野川への影響はほとんどないと考えられます。

市営バスの実績公表を 平野バスの利便性向上を

問 市営バスの利用状況が良くないのでは。市報等に乗車実績を掲載しているのですか。平野地区からヤマザワ方面に向かうコースが非常に不便に感じます。

意見交換会での議員の回答

市ホームページなどに乗車人数の掲載を検討するよう担当課に依頼します。ダイヤ改正により公立置賜総合病院に向かうコースにして、利用しやすくなっていますが、市営バスを使いたくてもバス停まで遠くて行けないという問題もあり、デマンド方式を検討するよう提言していきます。



「市民の足」として期待される市営バス

担当課の回答

乗車実績の公表は、新路線になってから、市民の皆様にはお知らせしていませんでした。今後は、実績を公表して多くの方に利用していただけるように、広報や市のホームページなどを通してPRに努めます。

また、平野バスが市街地を通ること、公立置賜総合病院までの距離や時間が余計にかかることのご意見と推察します。市役所をはじめ、市街地の病院や銀行などへも利用している方がおられるためご理解ください。

今後も経路、時刻などの見直しを加えながら、市民の皆様が利用しやすい市営バスの運行にあたります。

広域農道の管理は

問 広域農道（市道置賜西部2号線）の沢が荒れて、土砂災害が心配です。両脇の雑草が生い茂っていますが、どのように管理しているのですか。

担当課の回答 置賜西部2号線は、年に1度、乗用草刈機械で道路路肩部の草を刈り、手刈りによる草刈りも年数回実施し、車道の通行確保に努めています。

また、道路脇の側溝は、土砂の堆積した部分があるため、今後、計画的に撤去します。同線を横断する河川、水路については、大沢川、出来ヶ沢、マキノ沢等の河川砂防事業の実施を県に引き続き要望します。

今後も道路パトロールを定期的に実施し、置賜西部2号線の維持管理に努めます。

市民と市議会との意見交換会に関するご意見・ご要望は、市議会事務局までお願いします。

(TEL 87-0812)

政務活動費をインターネットで公開します

全国の地方議会で、政務活動費の不適切な支出が大きな問題として報道されています。長井市議会では、12月22日の全員協議会で、平成28年度分から政務活動費の収支報告書や支出内訳書、領収書をインターネットで公開する方針を決定しました。

政務活動費は、議員1人あたり年間で最大12万円が支出されています。これまでも閲覧や情報公開請求による公開をしていますが、市議会ホームページで公開することにより、透明性を高め、信頼される市議会を目指します。今後、詳細について検討して6月に公開できるように準備を進めます。

次回 3月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
2月	13	14	15	16	17	18
12	全員協議会	総務	文教	厚生	産業・建設	
		常任委員会協議会				
19	20	21	22	23	24	25
	常任委員長会		定例会招集告示			
26	27	28	3月 1	2	3	4
	議会運営委員会		本会議(開会) 予算特別委員会			
5	6	7	8	9	10	11
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	総務 常任委員会	文教	
12	13	14	15	16	17	18
	厚生	産業・建設	予算		予算	
	常任委員会		特別委員会		特別委員会	
19	20	21	22	23	24	25
		予算			本会議	
		特別委員会			(表決・閉会)	

◎請願の提出期限は、2月13日(月)の予定です。

◎全ての会議を傍聴できます。正式な日程は、市議会のホームページなどでご確認ください。

議会傍聴にお越しください

議員と当局の活発な議論をぜひ議場で間近にご覧ください。
質問内容などを市のホームページで事前にお知らせしています。
インターネットによる議会中継も実施しています。

[長井市議会ホームページ](#)

長井市議会

で

検索

採 択

請 願



「農業者戸別所得補償制度」
の復活を求める請願
(請願者 置賜農民連
会長 小林茂樹氏ほか)

意見書

「農業者戸別所得補償制度」の
復活を求める意見書

平成26度から「経営所得安定対策」に切り替わり、稲作農家の離農が加速し、地域が一層疲弊しています。稲作経営が成り立たないばかりか、水田のもつ機能も失い、地域経済をますます困難にしています。

国民の食糧と地域経済、環境と国土を守るため、生産費をつぐなう農業者戸別所得補償制度を復活させることを強く求めます。

提出先 衆議院議長／参議院議長／内閣総理大臣／農林水産大臣

編集後記

新しい年を迎え、二が日は雨、その後連日の大雪で雪かきに追われる毎日。急激に変わる気候変動に、体調管理も難しい日々です。

2日の書き初め大会のお題は「つよい子」「はつゆめ」「友情を築く」「強い決意」等々。子どもたちがひたむきに取り組み姿に、自らも襟を正して議会活動に取り組んでいきたいです。

市民の皆さまに議会を身近に感じてもらえるよう、わかりやすい広報誌に努めていきます。酉年が飛躍の年になりますように、穏やかな一年であることを願います。

ながい市議会だより

編集特別委員会



◎梅津 善之
今泉 春江
渡部 秀樹
○宇津木 正紀
内谷 邦彦
平 進介

(◎委員長 ○副委員長)

この議会だよりは、議員の自主編集により発行しています。